

競技責任者ならびに投球数カウント係、放送係へのお願い

- 1、 各球場の競技責任者は総務係など競技委員の中から投球数カウント係を2名選定して、役割を明確にしておいてください。放送係には球数のアナウンスがあることを伝えておいてください。
- 2、 競技責任者ならびに投球数カウント係2名は球数制限のルールを理解しておいてください。(手元に「ジャイアンツカップ 投球数制限のケース」の資料を準備しておいてください)
- 3、 投球数カウント係は、カウンター2個(スタッフが用意します)を用いて投手の球数を計測します。インニング終了時に複写式の投手投球数記録表(同)に球数を書き入れます。あわせて放送係にメモまたは口頭で球数を伝えます。放送係はそれにもとづき、表裏ともインニング終了ごとに球数をアナウンスします。
(例)「ただ今回、〇〇君の投球数は、〇〇球で、合計〇〇球でした。」
- 4、 投球数カウント係は投手が交代した場合、降板した投手の球数の合計数を確認し、投球数記録表に記入します。放送係にも伝えます。放送係はそれにもとづき、降板した投手の球数をアナウンスします。
(例)「先ほど交代した〇〇君のこの回の投球数は〇〇球で、合計〇〇球でした。」
- 5、 投球数カウント係は投手の球数が制限数に近づいた場合(残り10球程度)、競技責任者と放送係にその旨を伝えます。放送係は球数の合計をアナウンスします。
(例)「〇〇君の投球数は〇〇球で、制限数まで残り10球です。」
- 6、 競技責任者と投球数カウント係は試合終了後、公式記録員(首都大学野球野球連盟学生)とともにスコアブックをチェックし、各投手の球数を確認します。勝利チームの各投手については、投手投球数記録表に「次試合投球可能数」を記入し、複写をチームに渡します。(負けたチームについては、次試合投球可能数は記入しないでください)
- 7、 2回戦以降、競技責任者と投球数カウント係は試合前のメンバー表提出の際に、前の試合の投手投球数記録表で両チーム各投手の投球可能数を確認します。

以上